【第 10 回】講義概要紹介　12 月 17 日（火）

■講師

羽藤　裕子（はとう　ゆうこ）

株式会社中野屋　代表取締役

【略　歴】

	琴平町出身
平成９年	立命館大学卒業 日本電信電話(株)入社（現. 西日本電信電話(株)）
平成 19 年	(株)中野屋　入社
平成 30 年	同社　代表取締役に就任

【講師紹介】

幼い頃から家族が仕事に打ち込む姿を見て育ち、大学卒業、一般企業就職後、平成 19 年に家業に貢献したいと帰郷。中野うどん学校の運営や、おいりソフト考案。コロナ禍、地域一体で魅力ある街、観光地を目指す重要性を痛感。いろんな立場で地域や観光に携わっている方に感謝し、少しでも恩返しができればと思い、日々邁進しております。

【株式会社中野屋について】

大正３年創業。金刀比羅宮の参道でお土産物店「中野屋」、うどん打ち体験施設「中野うどん学校」、セルフうどん店「うどん茶屋てんてこ舞」等を運営。伝統菓子おいりを使用した「おいりソフト」発祥のお店。会社理念は「ようこそ四国へ心に残る旅のお手伝い」。

■講義概要

観光現場の視点から

下記について講義いたします。

- 会社の沿革、現状、課題、将来像
- コロナ禍で得たもの
- 地域のこと
- 観光（旅行・お土産）の変遷